

2019年度「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」 事業実施報告書

- | | |
|-----|------------------------------------|
| I | スポーツ及びオリンピック、パラリンピックの意義や歴史に関する学び |
| II | マナーとおもてなしの心を備えたボランティアの育成 |
| III | スポーツを通じたインクルーシブな社会（共生社会）の構築 |
| IV | 日本の伝統、郷土の文化や世界の文化の理解、多様性を尊重する態度の育成 |
| V | スポーツに対する興味・関心の向上、スポーツを楽しむ心の育成 |

道府県・政令市名【宮城県・仙台市】

学校名【 愛子小学校 】

1 実践テーマ	I・III・IV・V（複数選択可）												
2 実施対象者 （学年・人数）	仙台市立愛子小学校 全学年 625名												
3 展開の形式	<p>(1) 学校における活動</p> <p>① 教科名（体育・総合的な学習の時間・外国語活動）</p> <p>② 行事名（ ）</p> <p>③ その他（ ）</p> <p>(2) 地域における活動</p> <p>① イベント名（ ）</p> <p>② その他（ ）</p>												
4 目標 （全体のねらい）	・オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業を通して、大会の気運醸成を促すとともに、オリンピック・パラリンピックの価値や意義を現在の教育活動に活用し、運動意欲の向上を図り、体力向上につなげていく。												
5 取組内容	<p>(1) ブラインドサッカー「コルジャ仙台」出前授業 ○ねらい パラリンピック種目であるブラインドサッカーの紹介・体験を通して、視覚障害への理解を深めるとともに、オリンピック・パラリンピックへの関心を高める。</p> <p>日時 11月29日（金）2～5校時</p> <table border="0"> <tr> <td>ブラインドサッカーの紹介</td> <td>2校時</td> <td>全学年</td> </tr> <tr> <td>ブラインドサッカーの体験</td> <td>3校時</td> <td>4年1組</td> </tr> <tr> <td></td> <td>4校時</td> <td>4年2組</td> </tr> <tr> <td></td> <td>5校時</td> <td>4年3組</td> </tr> </table>	ブラインドサッカーの紹介	2校時	全学年	ブラインドサッカーの体験	3校時	4年1組		4校時	4年2組		5校時	4年3組
ブラインドサッカーの紹介	2校時	全学年											
ブラインドサッカーの体験	3校時	4年1組											
	4校時	4年2組											
	5校時	4年3組											



「コルジャ仙台」の方々を講師に招き、ブラインドサッカーの紹介を全校児童対象に行った。その後、4年生の総合「共に生きる」と関連させて、ブラインドサッカーを実際に行った。4年生は、

事前学習で白杖体験・車椅子体験に外部講師を招いて取り組んでいた。

(2) SenTIA 国際理解プログラム

ねらい

○世界の異なる文化や生活習慣、価値観を理解し、それらを尊重する態度を育てる。

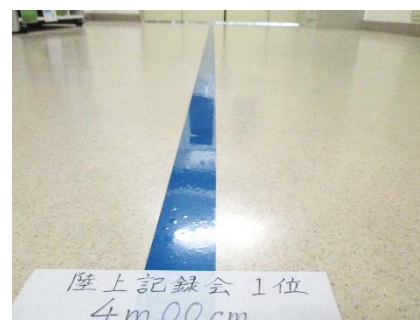
日時 12月11日(水) 4校時 6年生3クラス

講師 国籍 ネパール・エジプト・インドネシアの方 3名



SenTIA 国際理解プログラムに申し込み、3人の講師の方が来校した。母国の場所、国旗、食事、服、文化、学校の様子、遊びなどたくさんを紹介された。その話の中でオリンピックや人気のスポーツについても触れていただいた。

(3) 校内掲示



『オリンピック・パラリンピックの種目』『開催地』『金メダリストの記録と小学生の記録の比較』『陸上競技短距離のスターティングブロック』などを校長室前に掲示し、全校児童の目に触れるようにした。

<p>6 主な成果</p>	<p>オリンピック・パラリンピックへの関心が高まったことが成果である。事前アンケート（6月実施）で「オリンピック・パラリンピックとは何かを知っていますか。」という質問に対して「知っている・少し知っている」と答えた人が77%だったが、事後アンケート（1月実施）では83%となり、理解が深まった。また、「オリンピック・パラリンピックが日本のどこで開催されていますか。」という質問に対して「知っている・少し知っている」と答えた人が事前アンケートでは57%だったが、事後アンケートでは76%まで高まった。それ以外にも「オリンピック・パラリンピックの種目は何種類あるか知っていますか。」「オリンピック・パラリンピックを見たいと思いますか。」などの項目で事前アンケートより事後アンケートで高い割合だったため、校内掲示が効果的だったと考えられる。</p> <p>また、事前アンケートで1番人気があった競技がバドミントンの41%だったが、事後アンケートではラグビーの51%だった。ラグビーW杯に絡めた校長先生の朝会での「ONE TEAM」の話が意欲の向上につながったのではないだろうか。</p> <p>ブラインドサッカーでは、プロのプレーを見た6年生は「コミュニケーションが大切。」「信頼関係を構築し、仲間で心をつにしなければならない。」「障がい者への理解が高まった。」「障がいを持っている人をかわいそうと思っていたが、ブラインドサッカーを見て、そうではなくて、すごいと思うようになった。」などと感想を書いていた。実際にブラインドサッカーを体験した4年生は「声を出したり、聞いたりすることが大事だと思った。」「目が見える人でもアイマスクを使えば、目が見えない人と同じようにプレーできることがよい。」などを感じていた。障害への理解を深め、運動への意欲が高まったことが成果である。</p> <p>SenTIA 国際理解プログラムでは、世界の異なる文化や生活習慣について知ることができた。実際の民族衣装を着たり、遊びを行ったりすることで、体験的に理解を深めることができた。</p>
<p>7実践において工夫した点（事業の特色）</p>	<p>6月の全校朝会での校長先生の話から始まり、きちんと4月からの教育計画に反映させて取り組めたことが工夫した点である。4年生の総合学習「共に生きる」とのつながりや、6年生の外国語での国際理解教育など、「推進校に指定されたから単発で行う」のではなく、各教科の教育計画に基づいて実施することができた。</p>
<p>8主な課題等</p>	<p>それぞれのプログラムに対しての校内での担当者が異なる場合、情報を細かく共有しておくことが必要である。外部講師との打合せも担当が複数いる場合、各々が留意点などを相手に正確に伝えることが必要になってくる。</p>
<p>9来年度以降の実施予定</p>	<p>工夫した点にも書いたとおり、単発の授業としては行わない。教育計画に基づき、人やもの・予算などの問題を解決できる範囲で実施していく。今年度購入したものについては、来年度以降も継続して授業で活用するように引き継ぐ。</p>